

12月7日から12月22日までの16日間の会期で開催されました。
一般質問は12名が行い、「下諏訪町税条例の一部改正」や「平成28年度一般会計補正予算」など11議案を審議しました。

こ
ん
に
ち
は

し

も

す

わ

町

議

会

で
す

目次

議決結果	2
議案審査内容	3
陳情・意見書	4
視察報告	5
一般質問	6
他議会 来町	13
懇談会報告	14
議長のつぶやき・議会と私	16

VOL.14 平成29年(2017)1月27日

編集／広報特別委員会 発行／下諏訪町議会

電話(0266)27-1111 FAX(0266)27-1237

<http://www.town.shimosuwa.lg.jp/www/genre/1000100000096/index.html>



懇談の後は和やかにピース！（向陽高校生と懇談）

一目でわかる議決結果 12月定例会

議決結果

議案第81号	下諏訪町税条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第82号	下諏訪町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第83号	諏訪広域公立大学事務組合の設置について	可決(全員)
議案第84号	平成28年度下諏訪町一般会計補正予算(第6号)	可決(多数)
議案第85号	平成28年度下諏訪町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全員)
議案第86号	下諏訪町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第87号	下諏訪町特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第88号	下諏訪町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第89号	平成28年度下諏訪町一般会計補正予算(第7号)	可決(全員)
議案第90号	平成28年度下諏訪町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決(全員)
議案第91号	平成28年度下諏訪町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)

陳情審査結果

平成28年陳情第8号	介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める意見書の提出を求める陳情	趣旨採択(多数)
平成28年陳情第9号	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書の提出を求める陳情	趣旨採択(多数)

意見書案議決結果

平成28年意見書案第7号	介護保険制度の利用者視点での更なる充実を求める意見書	可決(全員)
平成28年意見書案第8号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	可決(多数)

12月定例会議案等賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています

議員名(議席順)	議決等結果	中村奎司	津金裕美	宮坂徹	田嶋彰	林元夫	青木利子	河西猛	森安夫	岩村清司	金井敬子	中村光良	藤森スマエ	小池忠弘
議案番号等														
議案第84号	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
平成28年陳情第8号	趣旨採択(多数)	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×
平成28年陳情第9号	趣旨採択(多数)	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×
平成28年意見書案第8号	可決(多数)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

可決・趣旨採択に対する賛成者は「○」とし、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としてあります。

旧労災リハビリテーション

長野作業所跡地取得へ

活用の方法をしっかりと

議案審査

議案第84号今年度一般会計補正予算のうち、「しごと創生拠点施設整備事業費」として計上された6100万円は、星が丘の労災リハビリテーション長野作業所跡地を購入する予算です。

購入対象は、約4000坪の土地と現存建物で、若者に仕事の場を提供するテレワーク・オフィスやものづくりクラフト創業の場、地域コミュニティへの活用、また国道20号バイパスの開通を視野に将来的な「道の駅」構想を持っていることが、町から示されました。

付託された総務経済常任委員会および本会議においても、活発な議論が行われ、賛否が割れました。



全議員で現場視察

議案審査における議案説明や質疑で、町から示された主な内容は以下のとおりです。

- ・ 労災リハビリテーション長野作業所は、労働者健康福祉機構が管理・運営していた施設。国有財産の処分として、まず地方行政団体へ、その後民間企業にも照会されるもので、交渉期限は、交渉開始から2年間経過するH30年4

月。

- ・ 建物も含め現状での売却が条件。
- ・ 町商工会議所や第9区から取得の要望が出されている。

賛成

- ・ 土地・建物についての活用要望が出されており、この間、議会でも跡地の活用については一般質問でも取り上げられてきた経過があります。町の活性化に向けて、有効活用が期待できます。
- ・ 町が購入せずに民間業者による宅地開発や工場誘致を考えると、現実性が薄く、限りなく難しいと考えられます。
- 一方、町から提示されたテレワーク・オフィスや道の駅構想も、期待より不安が大きいと感じます。しごと創生拠点施設に固執せずに、町福祉の拠点化なども視野に入れながら柔軟に考えることも必要です。

しかし、沢山の可能性がある場所

あることは、確かであると思います。したがって、町が購入し、様々な方向からの議論をし、「機能的な総合開発」を行う事が、妥当であると考えます。

- ・ 労災リハビリ作業所の閉鎖が決まった時から、大変興味関心を持ってきました。この4000坪の土地は、他に換えがたい価値を有すると判断します。

「機を逃してはダメ」との町民意見を聞いています。町民の納得が得られ、充分な活用が図られることを望みます。

反対

- ・ 周囲の人に意見を求めると、みな、反対しています。

労災リハビリ跡地の活用について、目的がはっきり見えません。きちんとした事業計画があつての購入であるべきです。6100万円は大きな額で、その後の費用負担も予想され、また、塩漬けになる可能性も否定できません。時期尚早と考えます。



屋内には広いスペースも

本会議での採決で、賛成多数で「可決」されました。

陳情、意見書の審議結果

陳情第8・9号

陳情者 諏訪地方社会保障推進協議会

- ・介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める意見書の提出を求める陳情
- ・次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書の提出を求める陳情

政府による、2017年通常国会に向けた介護保険制度の見直しの検討が進められていますが、さらなる給付の削減・負担増をはかる内容が盛り込まれています。給付の抑制は、「介護難民」を増やしてしまうことになりかねませんし、家族の介護負担を増大させることは政府が掲げる「介護離職ゼロ」政策にも反することから、国に対し、陳情8号は「介護保険の給付縮小・負担増を中止し充実を求める意見書」を、陳情9号は「福祉用具・住宅改修を介護保険から外さないことを求める意見書」の提出を、議会に求めるものです。

両陳情とも、「国民の経済的負担を抑え、行き届いた介護制度を求める気持ちはわかるが、見直すべきではないと触れられている

『要介護1・2の生活援助サービス』や『福祉用具・住宅改修サービス』の介護保険外しは既に厚生労働省の審議において見送られており、陳情内容が情勢に見合っていないことから『趣旨採択』との意見と、「陳情書が提出された時と差はあっても、国が進める介護保険の審議や具体化は、2015年6月に閣議決定された『骨太の方針』や、社会保障費を削減・抑制するための段取りを明記した『工程表』により進められており、おおもとが撤廃されない限り介護保険削減の流れは変わらないと考えることから『採択』との意見が出されました。

採決の結果、挙手多数で、「趣旨採択」となりました。



意見書案第7号

介護保険制度の利用者視点での更なる充実を求める意見書

介護保険制度は、給付の縮小や利用者負担の増額を回避する中で、持続可能な制度として維持できるよう検討されるべきです。利用

者視点に立った見直しにより、制度の更なる充実と改善を国に求めるものです。

意見書案第8号

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

地方議会への住民の幅広い参加を求める視点から、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにすべきです。地方議員の厚生年

金制度への加入を、地方議会におけるなり手不足解消の一手段として、国に求める内容です。

バイパス対策特別委員会

地域とのコンセンサス

醸成が第一

静岡県国道1号静岡

バイパス並びに山梨県

中部横断自動車道国交

省直轄道路（富沢）六

郷）を視察しました。

〈静岡バイパス〉

静岡市街地を通過す

る国道1号のバイパス

で、全長24・2km。昭

和38年に調査が開始さ

特別委員会 視察研修報告

議会に設置されている特別委員会では、それぞれ課題に沿っての視察研修を実施しています。過日実施した2つの特別委員会の視察研修について報告します。尚、議会内でも、視察研修後に報告を行い、情報共有に努めています。

砥川治水・赤砂崎防災公園化等対策

特別委員会

防災に重要な「まさか」

「想定外」の意識ゼロへ

〈鬼怒川緊急対策事業〉

平成27年9月に発生

した「関東・東北豪雨」

を踏まえ、国土交通省

関東地方整備局が「水

防災意識社会 再構築

ビジョン」を策定。直

轄の河川とその沿川市

れ、平成9年に2車線
で全線開通、全線4車
線化完成は平成30年の
予定です。

近隣への影響を低減

させるため、トンネル

入り口部や、工事ヤー

ドの境界に防音壁によ

り工事騒音の低下を図

ったとのこと。また、

地元への説明がき

め細かく実施されてい

ました。



▶静岡バイパス
丸子薬科トンネル入り口

〈中部横断自動車道〉

富沢・六郷間は全長

28kmで山の中であり、

橋41か所、トンネル19

か所です。29年度の

開通予定です。富士川

橋、丸滝トンネル、身

延インターチェンジを

視察しました。

毎月現場便りを発行

し、進捗報告など行う

とともに見学会の開催、

地元の清掃活動への参
加など、地元の方と親
交を図る配慮がされて
いました。

トンネル工事の最深

部や、橋の上での視察、

インクラインなどの設

備を目の当たりにして、

最新の土木工事に感銘

を受けました。また、

それぞれ地域へ細かな

配慮がなされていたこ

とが印象に残りました。

明を受けました。

〈広尾防災公園〉

災害時物資受け入れ、 備蓄品など参考に

千葉県市川市広尾防

災公園は、大規模工業

跡地を活用し整備され

た、一時避難場所の機

能を有する都市公園で

す。

1万3000人の3

日間の避難を想定して

の、備蓄倉庫、耐震性

飲料用貯水槽、68穴の

非常用トイレ、非常用

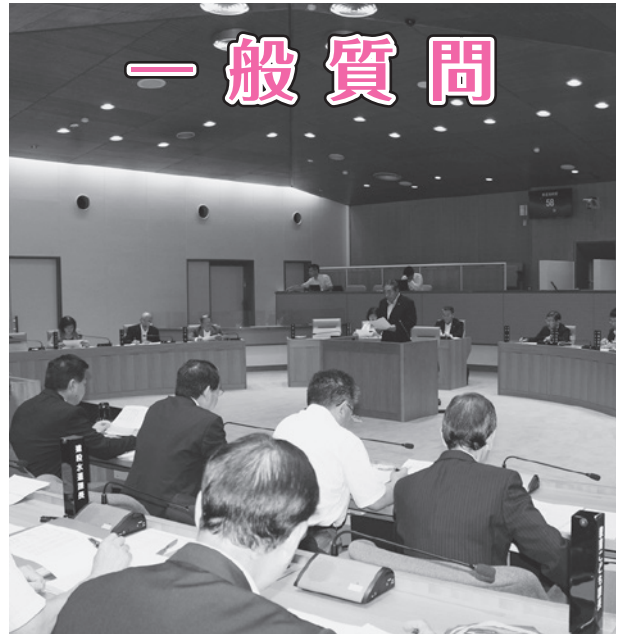
トラックの荷台の高さに合わせたステージパーゴラ



トラックの荷台の

高さに合わせたステージパーゴラ

一般質問



青木町長選挙公約の 具体的内容を問う



小池忠弘 議員

遠隔地への販売 車、住宅耐震化

Q 「高齢者、障がい者にやさしいまちづくり」で町長が公約して



12月定例会における一般質問は、単独質問に加え、届け出によるグループ質問が可能です。共通する課題などについて、効率的に質問できることを狙っています。単独質問は1人60分ですが、グループ質問は2人まで120分、1人増えるごとに30分が加わります。

今定例会では日本共産党が3人でグループ質問を行い、9人が単独質問を行いました。

- 6-7 P 日本共産党
- 8 P 田嶋、中村(光)
- 9 P 宮坂、林
- 10 P 青木、河西
- 11 P 森、津金
- 12 P 岩村

一般質問はインターネットのYouTubeを利用した録画配信を行っております。ぜひご覧ください。

<http://www.shimosuwa.lg.jp/www/genre/1477036227013/index.html>

また、図書館でも一般質問のDVDの貸し出しを行っておりますのでご利用ください。

いる遠隔地への販売車配置の具体的な内容は。

A 商店がなくなり買い物に難儀している町屋敷、萩倉、星が丘、高木に販売車を運行したいと考えており、現在業者と交渉中である。

Q 公約「安心安全、防災のまちづくり」で触れられている住宅耐震化に対する補助金について。百万円に、上積みする考えは。

A まず住民の皆さん

に防災意識をしっかりと持ってほしい。県にも要望し補助金を増額する考えだが、県補助は件数も限られるので、枠を越えても町独自で上限百万円を補助したい。住宅リフォーム、エコエネルギー補助を来年度から新たな形で再開させる。店舗部分の改修、耐震シェルター等へも拡充したい。

新婚向け

町営住宅建設は

Q 公約「活力ある産業振興と若者支援」中の新婚カップル向け町営住宅建設について、具体的には。

A 大手業者に任せるのがよいのか、町でやるのがよいのか検討中であるが、早期に町有地に建てていきたい。また、生活困窮者など住宅に困っている方達もいる。そうした方達の要望を把握した上で、どういう施策が必要か検討する。

Q 選挙投票所の場所が遠くて、投票に行かないという声があるが、あざみ号の臨時運行

町民要望に 応える 施策実施を

Q 来年度予算編成の基本的な考え方は。

A まず、公約実現に向けて、出来ることから来年度は大型投資事業の計画はないので、住民要望実現のための予算にしたい。

Q 選挙投票所の場所が遠くて、投票に行かないという声があるが、あざみ号の臨時運行

等を検討すべきでは。

A 選挙管理委員会が投票区割りを行ってあるので、選管に投げかけて検討してみる。

Q 生活道路の改修・整備を進めるために、思い切ってお金を使えないか。

A 毎年の道路予算が少ないとは考えていない。ここ数年、交付金も活用しながら、今から出来る大きな投資をして、西大路や湖畔の道路を改良してきた。今後も、計画的に道路整備に取り組む。



金井敬子 議員

介護の今後は

Q 来年4月からの開始を前にした「地域支援事業」の準備の進み具合や、住民周知は。

A 諏訪広域連合は年内に改めて「サービスA」の事業所意向調査

実施後に、説明会を開催すること。町でもその後、説明会を開き、事業開始に混乱がないように対応していく。諏訪広域では12月、町では3月の広報への掲載で住民周知を図る。

Q 生活支援コーディネーターの現状と、課題は。

A 地域包括ケアの構築状況を発信したり調整する役目として、町社会福祉協議会職員1人を、生活支援コーディネーターとして配置。各地区の資源開発の推進役も期待している。

保育園担当の保健師さん配置

Q 町長公約の中の、「保育園担当保健師の配置」。具体的な内容は。

A 来年度から、教育こども課に担当保健師1人を配置し、急な病氣・怪我への対応、保護者の相談にあたる。3園をくまなく回れる

ようにする。

職員対応改善を

Q 「役場職員の対応が冷たくて切なかった」「職員が町制度に精通していなかった」等の声が寄せられている。職員の接遇や知識向上に配慮を。

A 大変申し訳ない。日頃から、対応向上に努めていく。



体育館前の駐車スペース

Q 「信州パーキングパーミット制度（車いす使用者や、障がい者、高齢者、傷病者、妊産婦等に対し、県内共通の「利用証」を交付し、障がい者等用駐車場を

必要とする方の利便性向上を目指す制度」の周知を図り、誰にでも優しいまちづくりを進めてほしい。

A 10月から、受付・申請手続きが町に移管された。今後は、町管理の都市公園、観光地の登録申請を進め、制度の周知も図る。



藤森スマエ 議員

中学生N2への派遣の準備

Q 初めて送り出す中学生的のニュージージャーランド派遣の準備状況は。

A 中学2年生10人を、春休み中の10日間派遣。20人の申込みがあり、抽選で10人を決定。町職員と教職員1人ずつ随行し、現地で旅行社職員が1人付く。11月18日から語学研修を開始しているが、英語力のレベルが高いとの評価。



派遣を控えての語学研修風景

不登校の現状は

Q 文科省の9月の通知、また12月7日に出された『教育機会確保法』は、「学校に行くのが当たり前でなく、不登校は問題行動ではない」としている。無理して頑張る子どもにも、休んでもいいというメッセージを届け、小中学校に通えなかった人

のために夜間中学を開設するといった支援を盛り込んでいく。学校現場も当事者に寄り添う支援が必要と思う。教育長の考えは。
A 現在小学校1名、

中学校4名が不登校。子どもの背景をしつかりつかむことが大切で「どうしても学校へ行かなくてはならない」というものではない。個々の実態に合わせたステップアップに全教職員で取り組みたい。それを保護者にも、伝えていきたい。

Q 英語特区を生かして、下諏訪の英語力を発信すべき。
A 大変、大事なこと。小中9年間の英語力の向上と、下諏訪町ならではの「英語のまち」も、いいと思う。

Q 諏訪湖におけるワカサギ大量死後の状況と、諏訪湖の浚渫について。
A サイホンの原理による対策を県へ提言。冬のワカサギ漁は昨年並みに。浚渫は一定の成果があったが、最終処分場の確保が困難で中止した経過がある。浚渫によらない水環境整備が継続されている。

重点目標の具体的

施策について



田嶋 彰 議員

高齢者なんでも相談室について

Q 町長が公約に掲げた「高齢者なんでも相談室」の開設とは。

A 従来の各種相談の多くは役場庁舎内で行っているが、できれば月に何回か、地域に職員が出向き、相談に応じることを考えている。

認知症見守り推進について

Q 認知症見守りのネットワークの拡充を。

A 認知症見守りサポート1ター数は12月1日現在で1467人。うち約400人が児童・生徒。民間事業所ともネットワークを組み、情報共有や体制を構築。地域での見守りも推進したい。



遠隔地への移動販売車の運行は

Q 遠隔地移動販売の具体的な取り組みは。

A 業者と詰めている。山間部の実情に寄り添い、早期に実現させたい。

安心して子育てできる町を

Q 子育て支援施設の整備の進め方は。

A 建物は新設するのではなく、今ある施設を活用する方向で早期に開設をしていきたい。

活力ある

産業振興を

Q 産業活性化の進め方は。

A 小規模の事業所でも高い技術を持つている。後継者や人材確保の問題を検討しつつ、支援センターを中心に高い技術を生かす支援をしていく。

観光客にも

魅力ある町に

Q まち歩き観光客

が増えてきている。今後、安全確保、駐車場や案内看板の整備は。
A まち歩き観光を推進するため、まず街なみ環境整備を進めてきた。並行して統一看板を取り組みで、だいぶ整備ができてきた。
まだ「目的地にたどり着けない」という指摘もあるので、そのような面に注意しつつ整備を心がけたい。

明るく活気ある

下諏訪町を築こう



中村光良 議員

少子高齢化対策 移住定住促進を

Q 国の地方創生加速化交付金2870万円で取り組んでいる移住定住促進でアクション

プランの進捗はどうか。
A 12月に観光客約100人に調査した。1月末までに結果をまとめ暫定プランの素案を完成させる。

Q 移住交流相談委託についてはどうか。

A 現在までに1軒のカフェで対応してもらえていることになり、具体的に話を進めている。

Q 移住交流拠点及びモニターツアーについての進捗はどうか。

A 拠点は御田町の旧南信生花跡に決定した。相談業務、情報発信の場として活用する。まちづくり提言のコミュニティスペースとして利用できるよう改善を進め、1月末までに完成する予定。モニターツアーも検討中。

まだ要望多い

生活道路改修

Q 11月の町長選挙での町民の期待度で、更なる生活道路整備要望が多かった。町の大型事業が一段落した今、財政状況からみて、維持補修の予算増額を期待しているが、どうか。

Q 道路や側溝の補修に関して、毎年各区長を通して要望を取りまとめているが、1年は長いので新たな傷みも発生する。聞き取りの回数を増やせないか。

A 例年区長を通して要望を収集しているが、近年は随時要望を受付けるよう努めている。



道路整備は住民の願い

ユニバーサル ツーリズムの推進を！



宮坂 徹 議員

受け入れ体制の整備について
Q 3月定例会で質問した、年齢や障がいの有無にかかわらず誰もが楽しめる旅行「ユニバーサルツーリズム」の、その後の対応は。

A 28年度の取り組みとして、「人に優しい旅館を目指す」という方針に沿い、対応している旅館もある。7月から11月にかけて、各種の団体が当町を会場に、車いすや補助具を使った体験実習・研修会を行っている。

Q 今後はどのように進めていくのか。

A 実習・研修をみると、こうした取り組みが普及することで、安心して観光地に出かけられる仕組みができると思う。観光や屋外スポーツなど様々な面で、障がい者の方々が楽しめる取り組みが必要。そのために、旅館・観光団体の連携、情報の提供、補助機器の効果的な配備、医療機関等との連携・費用

面など旅館・観光団体等の充分な理解と研修が必要。この取り組みが下諏訪のみならず、広域観光の視点から諏訪全体になればよい。

Q 広域での視点は大事。ユニバーサルツーリズムのメリットは、①町の観光として新たな市場②旅行や野外活動補助具の開発による「ものづくり」への貢献③誰にでも優しい環境づくりなどがある。併せて「心のバリアフリー



「JINRIKI」体験

A 重要な指摘。まち歩き観光を進めている

「化」ガイドラインを策定しユニバーサルツーリズム、フィールドを推進する考えは。

以上、皆さんがこうした考えでまち歩きを楽しんでもらうことは大事。観光ガイドの皆さんも「JINRIKI」があればガイドができるという。29年度で整備したい。ものづくりでも、町で開発依頼するのも支援に繋がる。観光面だけでなく、障がい者にも優しく、高齢化が進む町が、町づくりのためにどんなことができるか、課を越えて検討をしたい。

健全財政の継続が重要課題となる



林 元夫 議員

地方交付税の推移と傾向

Q 地方交付税の推移や特記される事項は。

A 27年度までリーマン・ショックの影響を緩和するため別枠加算

があった。補正財源として不要になった交付税を、基金積立し有効に活用してきた。

Q 施設整備のための計画的な財産運営がなされたと評価。今年度の交付金による事業変更は。

A 街なみ環境整備事業の旧諏訪養護学校跡地購入7685万円や移住定住促進対策事業

の2870万円がある。

Q 次年度予算編成において期待する交付金事業は。

A 社会資本整備交付金を活用し、赤砂崎公園整備、街なみ環境整備事業による御田町線の美装化や高木津島公園整備がある。地方創生推進交付金などを活用し、町の総合戦略をさらに推進していく。

Q 歳入は減少 歳出は増加 予算編成における

質問資料

	23年度	26年度	27年度
当初予算歳出総額	760,000	863,000	822,000
決算支出済総額	859,711	868,864	851,292
差額	99,711	5,864	29,292
予算時の地方交付税予定額	135,000	144,000	150,000
決算時の地方交付税収入済額	168,715	167,104	179,787
差額	33,715	23,104	29,787

(単位：万円)

A 重要課題は。歳入では、町税の減少と人口減による交

付税の減額が見込まれ、一般財源の確保が課題。歳出では、起債の償還による公債費の増額が見込まれるため、健全財政の継続が重要。

Q 赤砂崎公園の整備計画とスケジュールは。

A 右岸は子供が遊べるエリアに。遊具など設置し、自然と触れ合えるように。28・29年度県有地を購入、30・31年度で完了したい。

健康ポイント
次年度に実施

Q 健康増進のインセンティブ施策である健康ポイントの導入について。

A 健康講座、特定健診の受診などをポイント化し、還元する仕組みで、来年度から実施する。

Q 「新婚カップル専用」町営住宅の建設について、建物を建てるより、空き家を利用するなど、時流に合った施策が良いのでは。

A 一つの意見として聞いておく。

頑張る向陽高校生と 共にまちづくり



青木利子 議員

地域で暮らせるように
支える応援団で、現在
1467人、認知症サ
ポーターを養成するキ
ャラバンメイトは63人。
Q サポーターの増員
の展望は。

認知症サポーター
は何人か。

認知症サポーター
は、認知症になっても

自ら養成講座を開催。
Q 見守り体制は。
A 認知症カフェの開
設に向け検討中。

読書旬間の お話し給食

Q お話し給食の内容
は。

A お話し給食は本に
出てくるお料理を給食
で提供する企画。南小
は「お話し給食」北小
は「美味しいお話し
の目」として取り組んで

いる。取り上げられた
本やメニューは学校図
書館で展示される。
Q 子どもを主体にし
た図書館活動は。

A 今年度BOOKプロ
ジェクトが立ち上が
った。小中4校と向陽
高校のメンバーで交流
と読書推進の活動の場
今回は向陽高校の図書
館見学や、図書館まっ
りでBOOKプロジェクト
クト主催のBOOKカ
フェが開催された。

Q 家庭読書の日の推
進は。

A 保育園保護者会や
PTAが、呼びかける
文書を配布。H27年の
保育園向けのアンケ
トでは、毎月読んでい
ると回答した方が86%
であった。

Q 高齢者の皆さんに
向けた取組は。

A 老眼に対応した大
型活字本を652冊揃
え貸出している。録音
図書や音訳ボランティア

アグル
ーが作
成した
声の
広報は
ハ
イム
太白
でも
利用
されて
いる。

Q 子育て講演会で、
読み聞かせこそ最高の
子育てとあったが。

A 小さな頃に親から
絵本を読んでもらった
記憶は、子どもたちに
大きな影響を与えると
思う。最初の親子のコ
ミュニケーション。



ものづくり支援センターの 新体制に期待



河西 猛 議員

観光客にも
魅力ある町

Q 来年オープン予定
の埋蔵文化財センター
は、儀象堂と一体化し
た施設として運営する

場合、観光面において
体験メニューも必要不
可欠と思うが、現時点
での考えは。

A 黒曜石を利用した
アクセサリー作り、ウ
ッドバーニング（半田
ごなどで木を焦がし
て模様をつける）、焼き
絵アート、黒曜石の発
掘体験、土器パズル、
ガラス細工ジュエルキャ



星ヶ塔遺跡採掘坑復元ジオラマ

ンドル等、様々な体験
メニューが考えられる
が、今後検討する。

ものづくり支援 センターの今後は

Q 新体制と今後の運

営について。

A 役員も若返り、新
たな取り組みに期待。
実施政策は、基本目標
を定め「売れる・売る・
ものづくり」を複数年
の事業計画とし、人材
育成、企業経営の推進
設備投資促進事業、新
たな支援策の発掘など、
今後具体的に検討する。

Q 補助金の活用は。

A センターには10の
補助金制度があり、活
用されている。自動車、
医療、航空宇宙分野参

入のための国際基準・
規格、ISOの取得費
用の一部補助などを活
用し活性化を図る。
Q 空き工場の活用に
ついて。

A 町内の数社の企業
から、受注増を背景に
工場の移転や増設の相
談があり、「空き工場活
性化促進事業」の申請
がある。本定例会で補
正対応している。

防犯灯の 設置状況は

設置状況は

Q しもすわ未来議会
や町議会と向陽高校生
との懇談会の際に、駅
までの通学路で暗いと
ころがあるとの意見が
あったが、これに対し
て何か対応を考えてい
るか。

A 防犯灯は、通学の
安全確保として重要。
現在の設置状況等を調
査、学校や関係者とも
協議・検討を進めて
いる。対象地域との相
談、協議も必要と考え
る。

計画的なインフラ整備を



森 安夫 議員

Q 一斉に老朽化する公共インフラ施設の、メンテナンスにどう対応するか。

A 上下水道、温泉など老朽化に伴う修理・更新には長年に渡って、年10億円弱かかること

が想定される。実情に応じた基準を作り、更新の優先順位を検討し、年間投資費用の縮減を図っていく。

Q 諏訪湖ジョギングロードの外灯は暗い。機種も様々でメンテナンスも難しい。支柱だけ活用しソーラーとLEDに改修したら。

A 統一感を持ち、消費電力も少ないLED

へ計画的に替えて行くことを検討したい。



諏訪湖畔の外灯

Q 空き家の現状と対策は。

A 町内の空き家は278件。特定空き家などに関わる今年度の相談件数は11月末現在12

件で、内容は倒壊の危険や草木の繁茂等。9件は解決済あるいは解決に向かっている。未解決案件については、粘り強く対応していく。

工業展の出席で成果

Q 町内企業の工業展への出席状況と成果は。

A 10月に開かれた大阪での技術展には6社、諏訪圏工業メッセには15社が共同出展した。ともに全社が具体的な

件を得て、商談につながったものもある。

Q ものづくり支援センターはビジネスマッチングで成果を出している。さらに知的マツチング、すなわち知的交流による人材の育成が大切と考えるが。

A 上期実績で7千万円強のビジネス仲介。支援センターは、新たな視点も入れ支援することに変わってきている。講演会など若い人の参加も増えてきた。

やる気になっていただけるような風土を作っていきたい。

文化財の調査進む

Q 町指定文化財確認調査の進捗状況は。

A 町内66件の文化財について、調査を開始した。31件は調査済でデータベースを整備している。傷みのあるものもあつたが、大きな損傷はない。個人所有などの残りは年度内に調査する。

子育て支援が充実

下諏訪町へ住んで



津金裕美 議員

幼児から小学生まで受け入れ

Q 線路下に増設する「子育てふれあいセンター」についての構想は。

A まだ相手先との協議が済んでいないので詳細は未定であるが、子どもの居場所づくりとしての機能も持つたものを作りたい。幼児から小学生くらいまでを対象としているので、ある程度のスペースが必要となる。

Q 開設時期は。
A 当初はH29年度中

の設置を考えていたが、若干時間を必要とするので、来年度の開設は「現時点では難しい状況」である。建物の新設はせずに、既存施設を活用する方針である。

Q 運営については。
A 規模、開館日、人員配置等、まだ未検討である。

Q 経費等、どの程度を見込んでいるか。
A それも含めてまだ

多少の費用負担が生じ

でも町民に喜んでもらえるものにした。引き続きしっかりと協議を進めていく。

新婚専用の

町営マンション

Q 新婚カップルとは。
A 年齢は問わないが、結婚して5年間位を目途に住んでいただけ

方。その後は、下諏訪町の空き家活用か、新しく家を建ててもらえればと思っている。定住につなげる形を考え

ながら施策を組み立てていきたい。

Q 子どもが産まれた場合を考えると、5年は短くないか。
A 仕組みづくりについては、移住定住促進室、庁内プロジェクト、魅力ある子育て支援事業等、総合的に考える。

Q 間取り等、若い人達の意見も聞いて。
A 需要を探ること、アンケートや意見を聞く。婚活で成立したカップルが入居していた



子育てふれあいセンター「ぼけっと」

だければベター。
Q 建設候補地は。
A ベストはどこか検討する。赤砂崎、寄附していたいただいた土地、南小プール跡地など候補地はいくつかある。

行政間の垣根を無くし 活力ある『市』にしよう



岩村清司 議員

合併問題について

Q 長地村の合併の歴史について。

A 昭和32年岡谷市に編入、その後、壮絶な紛争が起き昭和33年に

この度の町議会議員補欠選挙で当選された
岩村清司議員の横顔を紹介します。

あなたが輝く人になれたら…

岩村 啓子



議員の横顔に謳ってあるキャッチコピーの通りの人だと思つています。「あなたが輝く人になれたら、この町は良くなるよね、き

つと!」。岩村も夢とつか目標を持つと、間違いない追求める人です。紆余曲折があつても…。
趣味はマラソン、登

14年は、合併特例法による取組が行われた。

Q 4回目、6市町村の合併に関してのアンケート結果は、富士見町では67%が反対、原村では63%が反対し、合併協を脱退した。その後、3市1町合併アンケートを茅野市が実施し、結果67%の反対で離脱した。

A 6市町村合併については、昭和30年に1回目の取組をし、2回目は、平成2年に青年会議所を中心にした合併請願が行われた。3回目は、平成7年に住民発議。4回目の平成

2市1町の合併協議会の設置、新市名称諏訪市、市役所の位置は諏訪市、議員定数30人

の分権型合併。6回の協議会をもってそのまま

で決定し合併成立かと思われたが、突如、諏訪市がアンケートを実施、49%の反対で過半数に達していないのに離脱した。「何度もフ

ラレテしまった諏訪の悲しい合併事情」に関しての所見は。
A 残念に思っている。しかし、その後16年が経過し、自立の町づくりをして来ている。今は、6市町村広域連合

山、スキー、飽きることなく続けています。東京マラソンの時にバテバテとなつて、応援に行つていた私たちに棄権しようかと思つていると告げた時に、下の娘が「男でしょ!歩いてでもゴール迄よ」と、何とかゴール

しましたけれど…。その娘が結婚する時のこと。教会でしたので、ヴァージンロードで娘を連れて新郎の待つと

で出来るものにして来ているのが現状。

Q 2市1町の合併に関して。

A 今は、6市町村で考えている。

20号バイパスについて

Q 都市計画決定されている社中の下でループでアクセスするようになってきているが、現状ではどの様になっているか。

A 来年度以降、関係

機関と協議を行いながら、道路勾配及び家屋の位置等を考慮し、ルートを検討・選定を行い、住民説明会を経て、都市計画の変更へと進んでいく。



高ボッチより諏訪湖を望む

議会傍聴のお願い

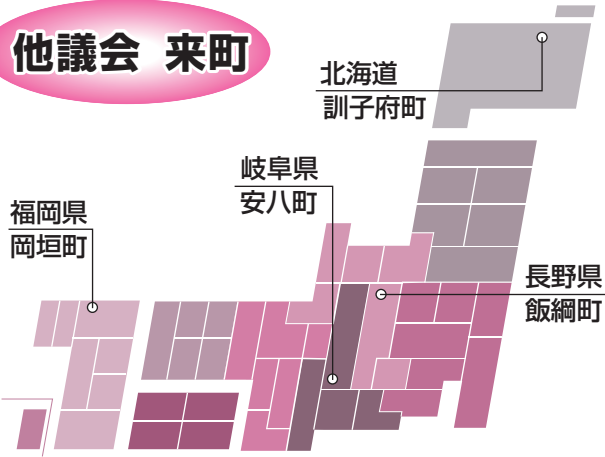
下諏訪町議会を見に来ませんか

開かれた議会を実践すべく、皆様の声をお聞かせください。

議員に何でも相談して下さい。

ころまで歩くのですが、大泣きです。あそこまですり泣きされると、見ている私の気持ちはちよつと引けて、なんでもよいから「まっすぐ歩いてね」でした。強かつたり、笑つたり、泣いたりと思ひ切り生活をしているのかな??
(岩村清司議員 妻)

他議会 来町



遠方からも行政視察に来られました

来訪議会	主な視察内容
福岡県岡垣町議会	英語教育の取り組みについて
岐阜県安八町議会	保育園の統廃合について
長野県飯綱町議会	議会録画中継・運用について
北海道訓子府町議会	福祉のまちづくりについて
	しもすわ未来議会について
	議会改革について

岡垣町議会

先進的位置づけの 下諏訪の英語教育を視察

昨年7月25日に英語教育の取り組みについて視察するため、福岡県の岡垣町から議員9名で視察に来られました。①小・中学校の英語教育の目標について②英語教育の取り組みの経緯について③レシピ方式（PLSシステム）の概要について④英語教育の取り組みの成果について⑤課題と今後の取り組みについての主に5項目について、研修を行いました。

下諏訪町の英語教育のレベルの高さをアピールできたと思います。

安八町議会

少子化の中での 保育園の統廃合を考える

昨年9月27日に保育園の統廃合について視察するため岐阜県の安八町から議員14名で視察に来られました。①統廃合のスケジュール②検討委員会設置③廃園後の施設の利用④統廃合による費用対効果⑤保護者・地域住民への説明会での留意点等⑥議会対応⑦増築や耐震化の実施⑧認定こども園への移行の検討について、研修を行いました。

飯綱町議会

議会録画中継の 導入と運用方法を研究

少子化に対応する早い取組みが評価されたものでした。

議会改革度調査2015ランキング

県内10位にランクイン

早稲田大学のマニフェスト研究所が行っている議会改革度調査は「情報共有」「住民参加」「機能強化」の3つのカテゴリーの点数を掛け合わせ、総合順位を決めています。調査回答率は全地方議会の約82%にあたる1460議会となっています。

下諏訪町は、平成27年度のランキングは全国197位となり、長野県内では10位となりました。特に「住民参加」項目で

順位	議会名	個別順位		
		情報共有	住民参加	機能強化
1	軽井沢町	114	29	55
2	長野県	265	149	73
3	飯綱町	548	146	14
4	飯田市	189	249	106
5	箕輪町	622	55	55
6	長野市	195	323	129
7	松本市	79	432	183
8	伊那市	369	24	394
9	塩尻市	324	155	275
10	下諏訪町	463	87	308

は全国で87位と健闘しています。議会報告会などで住民の意見を聴く機会や懇談会の開催による「開かれた議会」の実践は、これからも求められていくでしょう。また議員一人一人が「資質の向上」に努めなければならぬと考えて、議員同士の学習会を今年度は3回開催しました。町民の皆様のご意見が議会を活性化し、引いては町を良くしていくことでしょう。これからも協力ください。

昨年10月3日に議会録画中継の導入と運用について長野県の飯綱町から事務局2名で来られました。下諏訪町はユーチューブで議会の録画が見られるようになっていきます。LCVによる配信はコストも高く、住民に理解してもらうことは難しい。その中で、開かれた議会を実践するために考えられたのがPCで見られるユーチューブによる配信です。是非町民の皆様にも見ていただきたいと思えます。

訓子府町(くねっぶ)町議会

議会基本条例を制定したい 福祉のまちづくりを研究

昨年11月17日に議会改革、福祉のまちづくり及びしもすわ未来議会について北海道の訓子府町から9名の議員が行政視

察に来られました。下諏訪町では、すでに議会基本条例が制定され、議員の災害時の対応なども規定されています。制定の背景や制定後の運用について説明しました。福祉のまちづくりでは①高齢者応援カード事業の具体的活用状況②協賛事業所の反応と変化について③子育て家庭優待パスポートや高齢者応援カードを実施した背景など。またしもすわ未来議会の意義と効果について研修していただきました。

遠路はるばるお越しになられた議会の皆様の熱意に思わず敬意を払いました。わが議会も負けてはいられません。住民のため、より開かれた議会とするため、邁進してまいります。

昨年11月25日、議会で学校に向かい、下諏訪向陽高校生との懇談会を開かせていただきました。町内出身・町外出身の生徒さん11人から、5つのテーマに沿って意見や提案をいただきました。活発なやり取りが行われ、彼らの思いの一端を知ることができました。高校生の思いをまちづくりに反映できたらと思います。以下にその主な内容を紹介します。

テーマ① 10年後の町の未来について

- ・子供を大切にしよう、医療費の無料化を。
〈18歳まで無料化になりました〉
- ・高齢者・子供との関わりを持ちたい。原爆体験など聞く機会を持つなど。
- 〈伏見屋邸ではシルバー人材センターの皆さんが管理運営している。是非活用して欲しい〉

テーマ② まちの良いところ、改善したいところ

- ・通学路エリアの街灯が暗い、少ない。
- ・冬の路面凍結対策を。温泉で解かすなど。
- 〈温泉は流した後に凍ってしまうのが難点〉
- ・温泉をアピール。足湯の場所を増やす、無料施設を造るなど。
- ・まち歩きに駅発のパスポート・スタンプ、SNS

テーマ③ 10年後 住みたくなるまちづくり

での情報発信・割引、まち歩きアプリの開発を。看板が分かりにくい。英語だけでなく他の外国語表示も欲しい。道路に矢印など分かり易くしたらどうか。

- ・地元就職し易ければ町外に出て戻れる。
- 〈起業支援制度を紹介〉
- ・地元に戻って来たい人 11人中、4人
- ・山王閣跡に若者が集める所が欲しい。
- ・大型商業施設のような。



笑顔もこぼれて

テーマ④ 仕事やボランティアで体験してみたいこと

- ・下諏訪の歴史をもっと広めるための仕事をしたい。
- ・子供が歩く道には注意看板が欲しい。
- ・観光スポットで中高生がお茶などのおもてなしをしてみたい。
- ・向陽祭で地元のを販売してみたい。
- ・諏訪東京理科大などと連携し、VR（バーチャルリアリティ）等アプリを 開発し若者を呼びたい。

*文中へは、議員の発言

**高校生と語り合おう！
若者向けアプリを開発・活用して**



・図書館祭りでブックカフェをやったがとても有意義だった。

町の事を深く考える機会になった フレッシュな声が聞け有意義に

- ・三角八丁で小中高生で何かイベントをしたい。
- ・向陽祭でも下諏訪町と連携を深めたい。
- ・エルシーブイFMの「インフォメーション向陽」を聞いてほしい。毎月第1週目の金曜日、午後6時過ぎに配信中。



向陽生の感想

・今回の懇談会を通して、改めて学校と地域の関連性を考えさせられた。また、今後の自分の将来についても考えることができ、とてもよい経験になった。

(上伊那郡二年男子)

・下諏訪町がどういった町か、以前より知ることができた。私達のことも考えてくださり、とてもうれしかった。

(上伊那郡二年女子)

・下諏訪について深く考える機会になった。町民、町民以外の人たちの違った視点からの意見が聞けたことは、私にとっても沢山の新しい発見があり、とても有意義な時間だった。

(下諏訪町二年女子)

・話しやすい雰囲気を作ってください、緊張せずに話すことができました。自分の考えていたことを話すと、議員さんは実現可能か否か、やるとしたらどのような形になるかまですぐに話を膨らませていて、すごいと思った。

(茅野市二年男子)

議員の感想

・大変有意義だった。提案がいくつかあり、参考になった。できれば、文化祭と一緒に模擬店等のブースを出せたらと思う。

・具体的でもあり理想的でもあり、さすが若い人は頭が柔らかいなと思った。是非継続して、若い人の息吹を少しでも取り入れていけたらと思った。

・フレッシュな声が伝わってきた。向陽生の大方の意見かどうかは気になるが、非常に前向きな声もあるので、議会も協力してやれたらよい。参加した生徒たちが、町のことを色々な目で真剣に見ていることを感じ嬉しかった。是非これからも継続していきたいと思った。

・率直な意見が出されてよかった。向陽高校が町とどのようにコラボレーションしていくかが課題だと思う。

・何かしたら反応があったということが、生徒には嬉しいし、続いていくことになると思う。



真剣なまなごしに、議員も圧倒されました。

議会と私



しもすわ
未来プロジェクト
名智あゆみ

はじめての議会見学

『議会だより』の原稿依頼をいただき「無理です、私、議会について全く知りません」という会話から、定例議会中というところで、初めて議会を傍聴させていただきました。国会はテレビ中継で見たことがあるものの、地方議会は初めてで、傍

聴というよりも気分は議会見学でした。近くて遠い地方議会かもしれません。

議場の重いドアをあけると、黄緑色の立派な議場と緊張した空気に、思わず襟を正して傍聴席に着きました。定刻、チャイムと共に議長の発声。議題に沿って、各委員長からの報告、議長の進行により、質疑、討論、挙手による採決。賛成討論あり、反対討論あり。どの議員さんともとても凛々しく見えました。

この風景を、中学生か高校生の頃に見ていたら、もつと議会を身近に感じ、地方選挙への関わり、考え方が違ったと思います。

「将来の夢は下諏訪の議員さん」と子ども達が思う、そんな明るい未来をイメージしてみました！

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年は御柱で沸いた諏訪の平ですが、リオデジャネイロオリンピックも開催され、日本は12個の金メダルを含む41個のメダルを獲得し大いに沸いた1年でした。向陽高校生との懇談会は、若い方々のご意見を聞く機会でもありましたし、18歳選挙権が実施さ

れ、若い人たちが地方政治に関心を持っていただく良い機会にもなりました。議会だよりも若い方にも読んで頂けるよう努めてまいります。本年の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。
(Y・M)

広報特別委員会

- 委員長 金井 敬子
- 副委員長 林 元夫
- 委員 宮坂 徹
- 委員 森 安夫

議長のつぶやき

先入観なく 素直に



議長 中村 奎司

明けましておめでとうございませう。本年もよろしくお願い申し上げます。昨年同様、今年も経験したことのないとされる自然災害があつちこつちで発生し、自然災害に対する予知能力の限界を知らされた年でありました。同時にそれは世界の政治の場面でも出現し、政界・経済界を翻弄しました。

いわく、イギリスのEU離脱問題、いわくアメリカの次期大統領にトランプ氏の選出などがあります。でもそれは、今のエスタブリッシュメントの発想で行けば考えられないことでしょうが、そうでないより多くの人から見れば、当然のことかも知れません。大衆迎合主義と切り捨てることもできますが、もしかしたら、

物事の
本質を
ついて
いるの
かもし
れませ
ん。先

入観な
く素直
に現実
を見て
みたい
と思ひ
ます。



開かれた議会めぐり

北海道の北見市の近くに訓子府町（くねつぷちょう）という町があります。

その議員が来町され、議会基本条例が制定されるまでの経過、及び制定された後、議会がどう変わったかについて視察研修されました。作ろうと決めてから制定までに何故六年もかかったのか、反対議論はどうだったのか、興味深かったようでした。

開かれた議会にすべく、議会改革と称し進めてきたことが幾分評価されたのか、と大変うれしい思いをいたしました。早稲田大学のマニフェスト研究会によるランキングはすでにご報告した通りですが、引き続き住民の皆さんの負託にこたえるべく、邁進してまいります。

本年の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。